

表3 総合交通安全施設等整備事業第2次5箇年計画 (公共+単独) (単位 千円)

工種	道路種別	単位	一般国道		主要地方道		一般県道		市町村道		全体	
			事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費
一 種 事 業	歩道	km	53.3	1,573,500	38.7	1,015,000	59.3	1,428,300	93.3	1,788,100	244.6	5,804,900
	自転車道	km	79.6	2,662,500	12.9	556,500	12.5	462,000	15.5	341,500	120.5	4,022,500
	横断歩道橋	ヶ所	3	130,300	-	-	4	53,000	3	17,000	10	200,300
	地下横断歩道	ヶ所	2	169,600	-	-	-	-	2	60,000	4	229,600
	中央帯	km	1	2,900	-	-	-	-	-	-	1	2,900
	交差点改良	ヶ所	9	99,200	5	56,400	14	185,000	34	47,600	52	388,200
	視距の改良	ヶ所	6	60,000	-	-	-	-	79	37,900	85	97,900
	車輪停車帯	ヶ所	1	5,000	-	-	-	-	-	-	1	5,000
	路肩改良	km	9.0	180,000	3.0	155,000	0.5	50,000	26.2	275,900	38.7	660,900
	計		-	4,883,000	-	1,782,900	-	2,178,300	-	2,568,000	-	11,412,200
二 種 事 業	道路照明	基	310	172,900	89	19,700	152	35,000	467	60,000	1,018	287,600
	防護さく	km	30.9	267,800	38.4	262,500	103.7	770,800	195.4	1,114,000	368.4	2,415,100
	道路標識	本	568	297,800	254	97,200	241	83,800	3,236	30,000	4,299	508,800
	区画線	km	1,212	301,300	265.2	86,700	427.8	133,000	280.8	73,500	2,185.8	594,500
	視線誘導標	本	3,950	19,300	1,550	7,100	2,470	12,100	425	4,500	8,395	43,000
	道路反射鏡	ヶ所	107	5,500	467	25,200	1,002	56,100	7,063	229,500	8,639	316,300
	自転車駐車場	ヶ所	1	5,000	-	-	-	-	2	500	3	5,500
	計		-	1,069,600	-	498,400	-	1,090,800	-	1,512,000	-	4,170,800
合計		-	5,952,600	-	2,281,300	-	3,269,100	-	4,080,000	-	15,583,000	

注1. 一般国道には直轄事業を含む。 2. 延長はのべ延長である。

より安全で快適  
道路は私達にとって重要な生活空間の一つです。道路と一口に言っても種々様々あります。例えば高速自動車道のような自動車専用道路、重要な都市を結ぶ大動脈の道路から地域産業の基盤となる農道、林道、更に私達の生活の中で利用している生活道路があります。道路の人間社会における位置はきわめて重要です。例えば、交通、輸送の場、生活の場、災害避難の場であるわけです。その道路をより快適で安全で利用しやすいものにするためにはどのようにすればよいでしょうか。それは先ず道路の安全性を追求しなければなりません。

四一 大切な交通安全施設  
戦後の自動車台数の急激な伸びは、日本の産業を発展させ、私達の生活も潤ってきま

一般的基準  
車両の幅 二・五m  
車両の高さ 三・八m  
車両の長さ 十二m  
車両の総重量 二十t  
車両の軸重 十t  
車両の軸荷重 五t  
車両の最外側 わだちの最小 十二m  
回転半径 十二m

五二 道路汚損  
道路沿いの山腹を切りとる場合等、道路にその泥土が散乱し交通上危険な状態になります。特に雨が降れば、その危険性は一層増加します。道路に泥土、砂利を散乱させないよう工事される方々のご協力をお願いします。

五三 道路の不正使用  
道路は一般交通の用に供する施設です。従って、その通行を妨げるような行為は許されなわけですが、歩道に立看板を立てたり、自転車を置いたりして人の通行を妨げ、交通事故を起こすような危険な状態にあるのを見かけます。このような不正使用によって、道路の本来の機能を妨げないようにお互いに十分気をつけましょう。特に自転車については、

したが、交通事故増加という悪現象をもたらしました。交通事故件数がしだいに増加するにつれ、交通安全対策の必要性が国民的運動となって叫ばれはじめ、その結果四十五、六年をピークとして、事故件数はしだいに減少しています。この要因は、交通安全施設の整備、交通規制の合理化及び指導取締りの強化、交通安全教育等が考えられます。

表3に示すとおり本県もこの交通安全施設を整備しておりますが、せっかくつくられた交通安全施設も破損してそのままに放置してしまふ運転者も見受けられます。例えばガードレールを損傷してそのままの状態に放置しておきますと、その損傷の程度によっては、重大な事故を誘発する危険性があります。県は道路パトロールを行い、その発見に努めて、そのつど補修を行っていますが、若しガードレール等の交通安全施設を誤って損傷された場合は、放置せず関係の道路管

現代社会は情報社会といわれています。道路に関してもそのとおりです。道路を快適に安全に利用していただくために道路情報の提供のしかたも様々あります。例えば、道路標識、道路地図、新聞、ラジオ等のマスメディアによる道路交通情報、更に電話による問い合わせ等。特に電話による問い合わせは、日本道路交通情報センター熊本県警察駐在(TEL八二一八六六九)及び、日本道路交通情報センター熊本県土木部駐在(TEL八一八一一七三)がありますので、大いに利用して下さい。

最後に  
道路を正しく利用し、道路をゆとりある生活空間にし、道路のもつ「つなぎ」の機能を単に場所的「つなぎ」から人間的「つなぎの場」に発展させるよう私達みんなで努力しましょう。

(道路維持課)

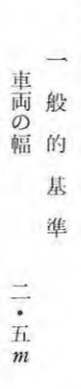


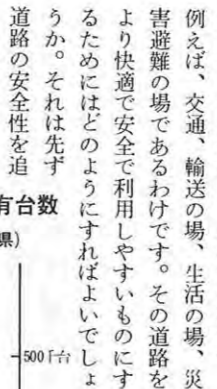
図5 道路予算の推移



表2 年度別一般会計予算と道路予算 (単位: 千円)

年度別	県総予算(A)	(A)の伸び率	道路予算(B)	(B)の伸び率	(B)の内補助工事予算	(B)/(A)%
40	48,468,106	100.0	3,909,236	100.0	2,604,025	8.1
41	55,232,798	114.0	4,792,610	126.0	3,357,228	8.7
42	61,683,469	111.7	6,021,412	125.6	4,468,604	9.7
43	73,518,637	119.2	6,370,670	105.8	4,515,156	8.8
44	82,067,033	111.6	8,180,368	128.4	5,408,148	10.0
45	101,523,300	123.7	10,990,044	134.3	6,910,781	10.8
46	122,851,100	121.0	13,857,738	126.3	8,561,537	11.3
47	159,125,803	129.5	17,840,873	128.6	11,935,198	11.2
48	187,540,992	117.9	19,117,038	107.2	12,267,720	10.2
49	222,432,636	118.6	17,640,286	92.3	11,779,534	7.9
50	243,364,773	109.4	18,252,535	103.5	12,152,676	7.5
51	266,857,964	109.7	19,453,627	106.6	13,538,262	7.3
52	307,420,333	115.2	29,329,558	150.8	18,327,880	9.5
53当初	331,949,428	108.0	32,165,926	109.7	19,462,900	9.7

図6 交通事故件数と自動車の保有台数 (熊本県)



したが、交通安全施設を整備しておりますが、せっかくつくられた交通安全施設も破損してそのままに放置してしまふ運転者も見受けられます。例えばガードレールを損傷してそのままの状態に放置しておきますと、その損傷の程度によっては、重大な事故を誘発する危険性があります。県は道路パトロールを行い、その発見に努めて、そのつど補修を行っていますが、若しガードレール等の交通安全施設を誤って損傷された場合は、放置せず関係の道路管

自転車駐車を設けることによって解消されると思われ各事業所のご協力をお願いします。

五四 道路情報の提供  
現代社会は情報社会といわれています。道路に関してもそのとおりです。道路を快適に安全に利用していただくために道路情報の提供のしかたも様々あります。例えば、道路標識、道路地図、新聞、ラジオ等のマスメディアによる道路交通情報、更に電話による問い合わせ等。特に電話による問い合わせは、日本道路交通情報センター熊本県警察駐在(TEL八二一八六六九)及び、日本道路交通情報センター熊本県土木部駐在(TEL八一八一一七三)がありますので、大いに利用して下さい。

最後に  
道路を正しく利用し、道路をゆとりある生活空間にし、道路のもつ「つなぎ」の機能を単に場所的「つなぎ」から人間的「つなぎの場」に発展させるよう私達みんなで努力しましょう。

(道路維持課)

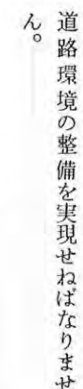


図5 道路予算の推移

二十九年には第一次道路整備五カ年計画が実施され、以来五カ年計画が次々に実施され、経済の高度成長に支えられ急速に道路整備が進んできました。その成果は図2で示すとおりです。現在は第八次五カ年計画が実施されています。